



統合実習では、実際の看護師さんの一日の動きに沿って行動していきます。今までの実習とは違い、チームに加わることで、仕事の優先順位の付け方や 報告・連絡・相談の適切なタイミングなどを体感しながら学ぶことができました。夜間実習では、日中とは違い少ない看護師の人数の中、どのように患者さんの安全を守っていくかを学ぶことができました。



統合実習では2名の患者さんを受け持たせていただき、看護チームの一員となり実習をしました。予定外のことも起きる中で指導担当の看護師さんへ相談し、優先順位を組み替えながら看護を実施しました。初めての経験で難しくもありましたが、多重課題をこなす上での報告・相談・連絡のコツや重要性などを学ぶことができました。

統合実習の学び



夜勤と複数受け持ちの実習、看護管理や役割ごとの役割を学びました。複数受け持ちでは、優先順位を考えなければならないため、今までの実習とは違い一人一人の患者さんにじっくり関わるだけでなく、疾病や生活背景の情報収集を効率よく、合理的に行うことを学びました。統合実習では、患者さんだけでなく、より広い視野を持って看護を行うことを学ぶことができました。

統合実習では初めて2人の患者さんを受け持たせていただきました。その中で優先順位をつけてケアを行うことで患者さんの安全に繋がることを学びました。何度も何を優先すべきなのか迷ったり悩んだりしましたが、そのようなときにはチームで共有することにより、的確で安全なケアを提供できることを学びました。